KEIO
INNOVATION
INITIATIVE

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

KEIO
INNOVATION
INITIATIVE

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズガーデンプラザB 4F

www.keio-innovation.co.jp

2024年12月発行 最新の情報はWEBサイトをご確認ください

その研究が、その発明が、

そのイノベーションが、

社会を変えるまで。

その研究が、

その発明が、

そのイノベーションが、

社会を変えるまで。

日本の大学には、世界にも誇るべき研究がたくさんある。
その価値ある研究成果が、もっと社会に出ていけば、
もっと世の中を良くすることができるはず。

しかし、大学の研究室から、
社会という荒波の外海へ出るとき、
研究力に加えて、確かな事業力がないと、
いとも簡単に埋没してしまう。
ロマンや夢だけでは、生き残れない世界がある。

研究室で生まれた技術や発明が、
社会を変えるために必要なビジネス・グロースを、
私たちが支援していきたい。

シード期から上場後の経営までを経験してきたノウハウと、
多様なバックグラウンドを持つチームで、
ひとつひとつの事業を、ひとつひとつのやり方で、
ずっとずっと遠くまで(私たちから離れても)、
自走していけるように、支援していきます。

「活用なき学問は、無学に等しい」

かつて福沢諭吉が示した通り、社会に役立ってこその学問です。
私たち、慶應イノベーション・イニシアティブが、
アカデミアの世界と、ビジネスの橋渡しとなり、
その技術、その発明、そのイノベーションを
社会に実装していきます。

OverView

会社概要と歩み

慶應イノベーション・イニシアティブ（KII）は、研究の社会実装と社会課題の解決を支援しています。

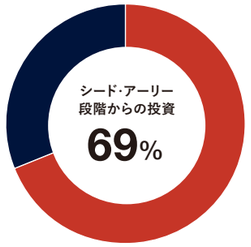
会社概要

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

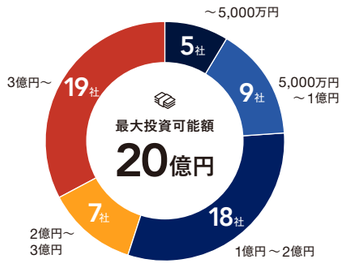
本店所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズガーデンプラザB 4F	設立	2015年12月17日
株主	株式会社慶應学術事業会 80% 野村ホールディングス株式会社 20%	資本金	1億円（資本準備金5000万円含む）

投資方針

社会課題解決型スタートアップ、特に医療・健康領域、デジタル・テクノロジー領域へ積極的に投資。
外部専門機関との連携や公的支援制度の活用を通じて、ハンズオン支援。



リード投資、追加投資も積極的に実施

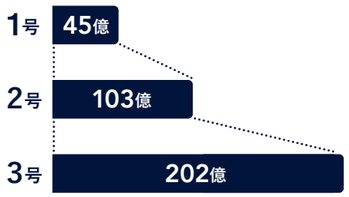


1社あたりの投資金額が高い傾向

ファンドサイズ

運用総額 約350億

投資実績 58社



3号ファンドも大きく拡大

投資先の成果

NEXTユニコーン上位35社に4社がランクイン	CureApp, Synspective, newmo, Heartseed
投資先が上場	Kringle Pharma, Inst. Global Society, Tsubo Lab, K Pharma, Heartseed
経産省J-Startupに選出	CureApp, Cellusion, Himuka AM, Synspective, Luxonus, instalimb, Alivexis, Metagen Therapeutics, FingerVision
経産省J-Startup Impactに選出	CureApp, Synspective, instalimb

ファンド概要

慶應イノベーション・イニシアティブ1号投資事業有限責任組合

ファンドサイズ	45億円
運用期間	2016年7月1日より10年間（最大2年の延長可能性あり）

KII2号投資事業有限責任組合

ファンドサイズ	103億円
運用期間	2020年1月24日～2029年12月31日（最大2年の延長可能性あり）

KII3号インパクト投資事業有限責任組合

ファンドサイズ	202億円
運用期間	2023年10月11日より10年間（最大2年の延長可能性あり）

ファンド出資者

かんぽ生命, 株式会社産業革新投資機構, 一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group, Be a Great Small. 中小機構, MUFG 三菱UFJ銀行, SMBC 三井住友銀行, MIZUHO みずほ銀行, あなたの未来を強くする 住友生命, 三井住友信託銀行, Eisai, SMBC日興証券, すべてを地域のために 東邦銀行, 極東証券, MUFG 三菱UFJキャピタル, GREE, 公共建物株式会社, 東急不動産ホールディングス, MIZUHO みずほリース, Z HOLDINGS, TBS Innovation Partners, MISTLETOE, NOMURA, 慶應義塾 Keio University

Impact

KIIはミッションを達成するために
ディープテック投資のパイオニアとして
インパクト投資に挑戦しつづけます。

KIIは、「その研究が、その発明が、そのイノベーションが、社会を変えるまで。」をミッションに、
デジタル・テクノロジーによる社会の革新や、医療・健康などの課題解決に取り組む
アカデミア発のディープテックに投資し、支援してきました。
インパクト志向の投資活動をいち早くおこなってきたともいえます。

私たちは、今後さらにインパクト志向を加速させるために、グローバルスタンダードに準拠して、
インパクト測定及びマネジメント（IMM）に誠実に取り組みます。
具体的には、デューデリジェンスから投資実行の各段階で、セオリーオブチェンジ（ToC）やロジックモデル、
インパクトの5つの基本要素、インパクトKPIの設定を投資先スタートアップと共に策定します。

これからも、スタートアップへの投資や育成を通じて、
日本が誇る大学や研究機関等の優れた研究成果の社会実装を推進します。
そして、社会貢献の一翼を担うと同時に、ベンチャーキャピタルファンドとして高い収益性を確保し、
持続的なイノベーションエコシステムの構築に取り組んで参ります。

国際的IMM（Impact Measurement & Management）に準拠した設計・運用

【インパクトの5つの基本要素】により、投資が生むインパクトを評価

一つ一つの投資先で【ロジックモデル】を設計

インパクト志向金融宣言に署名機関として参画

Impact Investment Vision

すべての人が、健康で、
幸福な人生を達成できる社会（生涯現役社会）の実現

KII3号インパクトファンドでは、グローバルスタンダードに則ってセオリーオブチェンジ（ToC）を策定。
究極成果の実現を目指して、財務的リターンの最大化とインパクトの創出に取り組んでいます。

※健康とは、単に病気がないとか虚弱でないということではなく、WHOが定義している「身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態」をさします。

KII3号インパクトファンドのTheory of Change（ToC）

パーパス	アカデミアの研究、発明を、社会を変えるビジネスに。
究極成果	すべての人が、健康で、幸福な人生を達成出来る社会（生涯現役社会）の実現

投資先の貢献			
SDGs / IRIS＋観点			
インパクト	QOLの向上	社会経済システムの変革	環境保護
アウトカム	・アンメットメディカルニーズの解消 ・予防医療の普及、医療費の適正化 ・医療の均てん化・効率化	・産業およびインフラの生産性・効率性向上 ・生活・労働環境の改善 ・地域の活性化	・持続可能なエネルギーの開発普及 ・CO2削減 ・循環型社会の形成

社会課題	
	・平均寿命と健康寿命の差、医療費・介護費の増大による国家財政と各家庭への負担増、医療技術の地域格差 ・高齢化・核家族化・経済/情報格差による個人の孤立化、生産年齢の人口減少と低い生産性 ・地球温暖化による地球環境悪化と気候変化（海面上昇、生態系への影響、食糧・水・健康・経済への被害拡大）

Interview　慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長 山岸広太郎

3号ファンドと「インパクト投資」で導く変革のゆくえ

設立以来、投資対象を慶應義塾外にも拡大し、成長を遂げてきた慶應イノベーション・イニシアティブ（KII）。
2023年秋、新たに設立した「KII3号インパクトファンド」に託したビジョンを、代表取締役社長の山岸広太郎が語る。

山岸広太郎（やまぎし・こうたろう）
1976年、横浜市生まれ。日経BPの編集記者、『CNET Japan』編集長を経て、2004年にグリーを共同創業。15年12月、慶應イノベーション・イニシアティブの設立と同時に代表取締役社長に就任。21年より慶應義塾常任理事、23年より一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）の常務理事および産学連携部会長を兼務する。

“大学の研究成果 × 社会的インパクト” に込めた想い

大学の研究成果を社会実装するために取り組むスタートアップに投資・育成を行い、広く社会の発展に貢献すること。これが設立当初から変わらぬKIIの目的であり、社会的使命です。きっかけの一つは、私がグリーを共同創業した際、母校である慶應義塾の先生方や先輩方にお世話になり、自分も同じく次の世代に貢献したいと考えたこと。ちょうど慶應義塾がVCを設立しようと考えていたタイミングと重なり、2015年に慶應義塾発のVC設立に至りました。

翌年設立の1号ファンドは、慶應義塾の研究成果の事業化を目指すスタートアップを対象に45億円を達成。19社に投資を行い、うち3社がIPOを達成しました。20年設立の2号ファンドでは、慶應義塾外の大学や研究機関にも対象を拡大。103億円を達成し、現時点で27社に投資を行っています。こうした実績や投資家からの期待の高まりを受けて、KII3号インパクトファンドの設立を決定した次第です。

一般的にインパクト投資は、社会や環境面における有益な影響（インパクト）と、ファイナンシャルリターンを同時に生み出す点が特徴です。その点、KIIは設立時よりアカデミアの知見による社会貢献を掲げており、大きな方向性の相違はありません。ただしインパクト投資においては、事業がもたらす社会・環境への影響を明確に可視化することが求められます。KIIでも社会課題解決型事業の骨子となる考え方「セオリー・オブ・チェンジ（ToC）」を策定し、「IMM」と呼ばれるロジックモデルに則った戦略設計や運用の手法を導入しました。※ これまで以上に投資戦略の言語化や情報開示が重要とされ、厳密な評価が適用されることになります。

他に先駆けて「インパクト投資」に取り組む意義

このようにインパクト投資は、社会が直面する諸問題を解決に導くために提唱され、整備が進められてきた新しい投資手法です。評価指標についても現在進行形で検討が進められており、私たち自身もルールメイキングに参加しています。

というのも、インパクト投資の対象は多岐にわたり、なかでも事業としてすでに立ち上がったものが主流です。これに対し、私たちは一貫して、新たな科学的知見や革新的技術に根差したディープテック領域を支援対象としてきました。見込まれるインパクトの大きさとともに実現の難易度も高い領域で、シード・アーリー期からの伴走支援に取り組むわけですから、1、2年単位で製品化やスケールが見込まれる場合とは情報発信の仕方も異なってくる。事業の将来的な可能性や長期的な価値を世の中に正しく評価してもらえるよう、フレームワーク作りにも力を入れていく必要があるわけです。

一方で、私たち自身も活動目的や存在意義を見つめ直し、あらためて言語化に取り組んでいます。その一つが、2号ファンド設立時に策定したミッションステートメント「その研究が、その発明が、そのイノベーションが、社会を変えるまで。」から導き出したKIIのパーパス（存在意義）です。「アカデミアの研究、発明を、社会を変えるビジネスに。」この一文に「他のVCとは異なる、私たちの独自性はどこにあるのか」という根本的な問いを込めています。また「セオリー・オブ・チェンジ」の一環として、目指すべき「究極成果」も定義しました。「すべての人が、健康で、幸福な人生を達成出来る社会（生涯現役社会）の実現」。この目的のもと、「QOL向上」「社会経済システムの変革」「環境保護」の3分野でインパクト創出に取り組んでいきます。

組織の壁を超え、変革を導く大いなるビジョン

インパクト投資において大切なのは、「誰の、どのような課題を、どうやって解決していくのか」を明確にする姿勢です。私たちも、いわゆる“投資”という言葉から連想される幅を超えて事業計画やチームビルディングに関与し、ともに考え、意識を変えていかなければならない。さらに私が大事だと思うのは、VC同士は競争し合うだけでなく、投資を通じてともに社会を導いていく関係にあるということです。私自身もその想いのもとに、JVCA（日本ベンチャーキャピタル協会）の常務理事に就任し、慶應義塾の常任理事としてもスタートアップ部門の施策に携わっているところです。

またKIIでは、アメリカでインパクト投資の普及活動に取り組む団体「Impact Frontiers」ディレクターの須藤奈応さんをアドバイザーに迎えました。加えて、3号ファンド設立にあたって背中を押してくださった方々の中でも、かんぽ生命保険はインパクト投資を通じた社会変革に前向きな機関投資家であり、私たちにとっても極めて心強い存在です。

こうした金融面、体制面の充実に伴い、よりきめ細やかで規模の大きな支援が可能になる。慶應義塾外の大学や研究機関からKIIへの問い合わせも増えつつありますし、組織や領域の壁を超えて新たなシーズを見出し、育てていく機会がさらに広がっていくでしょう。だからこそ私たちも、この先の社会に一つでも多くのインパクトを実現するために、力を注いでいきたいと思います。

※用語についてはP11の脚注を参照

Dialogue　対談：KIIアドバイザー 須藤奈応 × KII代表取締役社長 山岸広太郎

なぜ取り組むのか ―「インパクト投資」をめぐる問い

社会的インパクトと収益性を両立する「インパクト投資」。KIIはなぜ、前例なき地平を目指すのか。
KIIアドバイザー 須藤奈応と、代表取締役社長 山岸広太郎の言葉から、未来への想いをひも解いていく。

「インパクト投資」に取り組む、それぞれの意志

山岸　私が須藤さんのことを知ったきっかけは、ご著書『インパクト投資入門』を拝読したことでした。インパクト投資をめぐる方法論や実践例は、日本国内ではまだ少ない。グローバルな視点と最新の状況に通じた須藤さんに、ぜひお力を貸していただきたいと思い、ご相談した次第です。

須藤　私自身、アメリカでインパクト投資の普及促進に取り組む財団「Impact Frontiers」に携わりながら、個人として日本の環境整備にも貢献したいと考えてきましたので、とてもありがたいお話だと思いました。アセットオーナーであるかんぽ生命と慶應義塾がインパクト投資領域を中心に連携・協力し、社会課題解決とイノベーション創出の実現を目指す取り組みや、「アカデミアの知見で社会を変えていく」というビジョンにも共感し、ぜひ貢献したいと思ったのです。

山岸　インパクト投資について、須藤さんは社会課題の解決を導く目線と、金融にまつわる知識の両方に通じておられます。私たちとしても金融面の知識を掘り下げる必要性を感じていたところ、2022年9月より毎月のミーティングをお願いできることになり、大変ありがたいと感じました。

須藤　第1回目のことは私もよく覚えています。スタートからたくさん質問が飛び交って、ものすごい密度とスピード感だと思いました。例えば「IMM」※1の導入にしても、IMMはあくまでツールであって、それによって「何をするのか」が問われます。また、投資家の理解や共感を得るためには、トップの方から担当者まで一人ひとりが確かなモチベーションを持って臨まなければなりません。この点で、KIIにはさまざまなハードルを突破できる経営トップのコミットメントに加え、メンバーの強い意志と熱意を感じました。

「社会を変える」教科書なき命題と向き合う日々

山岸　ありがとうございます。インパクト投資を実施する以上は、投資先のスタートアップがどう社会に貢献し得るのか、どのくらい成長の可能性があるのかを、投資家サイドへ明確に提示しなければなりません。だからこそ、社会的なインパクトとファイナンシャルリターンがどう両立するかを説明するためにIMMをはじめとするプロトコルを導入し、的確な情報発信をしていく必要がある。そう気づかされました。

須藤　そういえば、最初のミーティングで「セオリー・オブ・チェンジ（ToC）※2を策定したい」という要望をいただいた時、その理念はミッションステートメントとしてすでに表現されていると思いました。だとすれば私にできるのは、みなさんが突き詰めようとしてきたことを精緻化し、解像度を上げるお手伝いをすることだと考えたのです。

山岸　2号ファンド設立時に策定したミッションステートメント「その研究が、その発明が、そのイノベーションが、社会を変えるまで。」のことですね。おっしゃる通り、自分たちなりに考える努力をしてきたのは確かです。ただ、3号インパクトファンドを組成するにあたって毎回、判断に迷うところがあり……あれこれご相談する形になりました。

須藤　実感として、日本を含むアジア圏では多くの人が「こうすれば大丈夫」という教科書的な回答を欲しがります。それに対して私はまず「正解はありません」と言うようにしています。参照するべき方法論や、ある程度決まった検討項目はあるにせよ、それをどう適用し、実装するかは各社がファンド戦略と照らし合わせて考えていく必要があるからです。

未来のために自らを問い、前例なき道を切り拓く

山岸　これまで伴走いただいて、ようやくインパクト投資ファンドの運用フェーズに入ったばかり。事業や領域ごとに課題解決のストーリーが異なり、手順を画一化できないため、一つひとつ向き合っていくしかないと考えています。

須藤　そこがキャピタリストの腕の見せどころであり、おろそかにしてはいけないところだと思います。「どうやって（How）社会を変えるのか」という問いには、定石通りの答えが存在しません。だからこそ常に、「なぜ（Why）インパクト投資をやるのか」を問い続けなければなりません。ファイナンシャルリターンの受け手は株主ですが、インパクトリターンの受け手は地球や人々です。株主のみに焦点を当てたアプローチから、大きな発想の転換が必要になるわけです。

山岸　その点、KIIにはシード・アーリーステージからディープテックのスタートアップに携わるという、難易度の高い仕事を選んでくれたメンバーが揃っています。社会を変えるために収益的にも持続可能な仕組みを作りたいという想い、これこそが私たちの強みかもしれません。

須藤　まさしくそう思います。私もまた、従来の資本市場のあり方では応えきれないニーズや課題があると気付かされたことから、インパクト投資に関心を持ちました。投資を通じてよりよい社会への変革を追求する方々とともに歩んでいけることは、私にとって大きな喜びになっています。

山岸　KIIにとっても、自らの存在意義を問い、これまでの枠組みを超えた視点や協力体制が求められるチャレンジです。須藤さんとご一緒できて本当に心強い限りです。

須藤　ありがとうございます。この領域の取り組みはいまだに国内事例が少ないだけに、KIIの実践こそが日本の最前線といえると思います。みなさんがどう実行し、どうインパクトを創出していくのか……大いに興味があり、やりがいを感じるところですね。KIIには、広く業界のけん引役としても活躍してほしいと期待しています。私も微力ながら貢献できればと思いますので、ぜひ引き続きよろしくお願い致します。

※1：IMM（Impact Measurement & Management／インパクト測定及びマネジメント）
インパクト投資の社会的効果を測定するために、インパクトを特定、管理、報告し、
そのサイクルを改善に活かしていくといった一連のプロセスのこと。

※2：セオリー・オブ・チェンジ（Theory of Change／ToC）
どのように、なぜ期待される変化が生まれるのかについて包括的な見取り図を表したものをいう。

須藤奈応（すどう・なお）
東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、東京証券取引所（現・日本取引所グループ）にて経営企画、新規事業開発や上場管理に従事。ウォートンMBA留学を経て、アメリカのImpact Frontiers へ。ディレクターとして戦略立案や研修開発を担当。並行して、日本におけるインパクト投資促進のためにGSG国内諮問委員会などの活動に携わる。2022年、KIIのアドバイザーに就任した。著書に『インパクト投資入門』（日本経済新聞社）がある。

山岸広太郎（やまぎし・こうたろう）
1976年、横浜市生まれ。99年に慶應義塾大学経済学部を卒業。日経BPの編集記者、『CNET Japan』編集長を経て、2004年にグリーを共同創業。10年にわたり副社長を務める。15年12月、慶應イノベーション・イニシアティブの設立と同時に代表取締役社長に就任。21年より慶應義塾常任理事を兼務。23年、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）の常務理事および産学連携部会長を兼務する。

Team

多様な視点で、事業を磨き上げる

様々なバッググラウンドを持つメンバーが、シード期から上場後までを見据えて、
ひとつひとつの事業を磨きあげていきます。

山岸広太郎

代表取締役社長

慶應義塾大学経済学部卒業後、株式会社日経BPに入社。編集やウェブ媒体の開発に従事した後、米国CNETの日本法人にて「CNET Japan」の初代編集長に就任。2004年に、グリー株式会社を共同創業。副社長として事業部門などを10年以上統括し、東証1部上場まで導く。2015年にKIIを設立。アカデミアの世界とビジネスの橋渡しとなり、社会課題を解決するディープテックスタートアップの技術・研究の社会実装を支援。2023年10月には大学VC初のインパクトファンド「KII3号インパクトファンド」を設立。ファンド運用の合計額は350億円に上る。日本ベンチャーキャピタル協会にて常務理事及び産学連携部会長も務め、VC業界の発展、大学発ベンチャーの創出に力を入れている。2021年5月より慶應義塾の常任理事（財務、募金、起業家教育・支援担当）を兼務。

木下秀一

執行役員

早稲田大学商学部卒業後、日本合同ファイナンス株式会社（現・ジャフコグループ株式会社）に入社。ベンチャー投資の前線でさまざまな案件をリードしIPOに導いた実績から、執行役員へと就任。国内投資部門を統括する。以後、投資委員会メンバーとして10年にわたり投資及びEXITの意思決定を行ってきた。2016年、KIIに参画し執行役員に就任。大型の資金調達、資本施策の立案、実行までをデザイン。

本郷有克

執行役員

名古屋大学大学院工学研究科修了。生物化学工学の博士号を取得し、住商ファーマインターナショナル株式会社にてVCファンドの運用、バイオベンチャーへの投資、海外バイオベンチャーの国内販売代理事業などに従事。2016年KIIに医療・健康領域の投資担当として参画。製薬業界でのビジネス経験・研究者としてのキャリアを活かし、創薬系・再生医療ベンチャーへの出資や、医療機器ベンチャーへの出資・ハンズオン支援を行う。

満留肇

プリンシパル

慶應義塾大学法学部法律学科卒。野村證券に入社。2支店でリテール営業を経験した後、コーポレート部署で人材育成業務、IR業務（国内外機関投資家・アナリスト対応等）に携わる。2005年より投資銀行部門（東京、大阪）にて、素材・エネルギーセクター企業を中心にバンカー業務に従事。九州企業金融統括部長を経て、2023年4月にKIIに参画。国内外機関投資家・アナリスト対応、IBビジネス等の知見を活かしKIIの運営管理や投資先のバリューアップ支援を行う。

野村直児

プリンシパル

東京工業大学大学院理工学研究科修了。NTTドコモにて、エンジニアとして無線通信・電池・電源技術など様々な開発に携わる。国内外で、携帯電話のコア技術を中心とした投資関連業務にも従事。退職後、香港科技大学でのMBA修了を経て、INCJ（元・産業革新機構）に参画。技術系ベンチャーへの投資活動に従事。2020年、KIIに参画し、通信／クラウド／ AI ／電池・電源／ IoT ／モノづくり領域の投資に注力する。

Team

鳥居優人
プリンシパル

北海道大学獣医学部卒。獣医師として勤務後、イーライリリーへ転職。セールス、マーケティングに従事。MBA修了後にエランコへ転籍。経営企画として、リリーからの独立P J、バイエル統合P J、経営戦略策定などを担当。2020年KIIに、医療・健康領域担当のキャピタリストとして参画。得意分野は、創薬・医療機器・HCPやファーマをステークホルダーとするBtoB biz。HCPや患者インサイトに基づくマーケティング戦略策定を得意とする。

大竹遼
プリンシパル

慶應義塾大学総合政策学部卒。楽天に入社後、新規事業の立ち上げやマーケティング戦略企画など担当した後、CVCである楽天キャピタルに所属。スタートアップ数社へのマイノリティ出資やM&A、事業連携等バリューアップを実行。また、アクセラレータープログラムや社内事業創出プログラムの立ち上げ・実行も経験。「社会課題の解決に貢献する投資をしたい」と、2021年、KIIにデジタル・テクノロジー領域のキャピタリストとして参画。

佐竹祐輔
プリンシパル

大阪大学薬学部卒／東京大学大学院薬学系研究科修了。EYストラテジー・アンド・コンサルティングにて、国内外企業の経営コンサルティングに従事。製薬・医療機器企業、医療機関等のヘルスケア企業を中心に、経営戦略、新規事業立案、R&D戦略、M&Aなど多様な経営課題を担当。2021年、KIIに医療・健康領域のキャピタリストとして参画。

宜保友理子
プリンシパル

早稲田大学政治経済学部卒／同大学院国際関係学修士号取得。LSE、スタンフォード、UCSDに国費留学、シリコンバレーで経験を積む。シンクタンクを経て、TLO設立など産学官連携プラットフォームを構築。慶應義塾大学医学部や創設に関わったイノベーション推進本部特任准教授としてメディカル・ヘルスケア領域の大型プロジェクトをリード。2020年KII参画。リレーションズマネジメントと、インパクト投資（IMM）を推進。産学連携学会理事、インパクト志向金融宣言運営委員も務める。

→ Network

アドバイザー及びネットワーク

外部の専門家や公的支援制度との連携でバリューアップを推進

アドバイザー

朝倉陽保 ／ 梅田望夫 ／ 須藤奈応

参加団体

日本ベンチャーキャピタル協会

インパクト志向金融宣言
Japan Impact-driven Financing Initiative

SIMI 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ
Social Impact Management Initiative

Keio Univ.

伊藤公平
慶應義塾長

2015年に設立された慶應イノベーション・イニシアティブ（KII）は、大学VCとしては後発とも言えますが、民間の組織と大学が協力して作り上げた純粋な産学連携組織であると自負しております。KIIは、デジタル・テクノロジー領域と医療・健康領域への投資に注力しており、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会「Society 5.0」ビジョンの実現にも通じる活動です。社会的インパクトをもたらす投資先企業が多数あり、アカデミアの研究成果を基に新産業を創出し、社会貢献と収益性を追求していくというKIIのミッション達成に向けて頑張ってほしいと思います。慶應義塾は、研究成果を創出する大学・研究機関として、KIIの設立に出資した株主として、KIIのファンドに投資している組合員として、今後もKIIの活動を強く支援してまいります。福沢諭吉先生の「独立自尊」の精神で設立したKIIの活動に対する社会の理解が深まり、未来に挑戦する機会が広がることを期待しています。

村井純
慶應義塾大学 教授

SFCは創立の頃、すなわち、インターネットの黎明期に多くのベンチャー企業や人材を輩出し我が国のインターネット社会の礎となる産業を生み出しました。あれから30年、デジタル社会は発展し、2021年からは、グローバルパンデミックとDXの掛け算であたらしい世界が生まれつつあります。第一次産業、第二次産業、第三次産業等のすべての産業、そして、金融、環境、医療・健康、教育など、あらゆる分野において、この時代のスタートアップによって100年に一度の歴史的な変革と発展が力強く担われます。大学発の未来創造、慶應イノベーション・イニシアティブがアカデミアの研究成果を活用した優れたベンチャー企業を支援し、新産業を創出し、社会の発展に貢献することを期待しています。

デジタル・テクノロジー領域

Institution for a Global Society株式会社

IPO

人を幸せにする評価と教育の仕組みを、AIと心理学でつくる

AIと計量心理学の知見に基づき、Society 5.0時代に求められる基礎を作るSTEAM分野やDX人材の教育・評価の仕組みを担う教育コンテンツを子どもから大人まで年代に応じて展開しています。学校・教育機関や企業に導入が進んでいます。

KII growth support

IPO準備体制構築支援

KII's Perspective

AI、ビッグデータを用いて人間の能力を分析する「HRtech」領域で、子どもから大人まで全ての年代に応じた「教育」と「評価」のサービスを展開。更なる企業や学校への導入を期待しています。

株式会社フォトラクション

建設の世界をソフトウェアとAIの力で限りなくスマートにする

建築・土木の生産支援クラウドサービス「Photoruction」を展開し、スーパーゼネコンをはじめとする国内外約10万を超える建設プロジェクトで導入されています。建設業の生産性と品質向上をテクノロジーによって促進し、様々な業務をソフトウェアとAIの力で自動化することにより技術者が本質的な仕事に集中できる環境を提供しています。

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役会オブザーバー派遣

KII's Perspective

スーパーゼネコンをはじめとする国内外約10万を超えるプロジェクトに採用されているのみならず、建築業務に特化したAIの研究開発にも着手しており、建設現場のプラットフォームとして成長が期待できます。

株式会社アクセルスペースホールディングス

小型衛星のパイオニアとして宇宙ビジネスを牽引

宇宙開発には多額のコストがかかることや、複雑な要素のマネジメントを必要とすることが課題です。同社は、従来の衛星よりも小型で低コストの衛星を開発し、そのユニークな機能やデータを活用することで、宇宙開発のコストやマネジメントの複雑さを解決しており、社会経済システムの変革や地球環境保護への貢献が期待できます。

KII growth support

IMM関連支援

KII's Perspective

小型衛星のパイオニアとして、独自のノウハウを活かした幅広い宇宙ビジネスを国内外で展開しており、今後も社会経済システムの変革・地球環境保護など、地球規模での社会経済的課題解決に大きく貢献できます。

エイターリンク株式会社

長距離ワイヤレス給電で配線のないデジタル世界を目指す

スタンフォード大学の研究成果を用いて、ワイヤレス給電の研究開発を行っています。同社は世界で初めて実用レベルの完全ワイヤレスデジタルデバイスを実現しており、英国Nature紙をはじめ多数の論文等に掲載され、複数の特許を取得しています。同社の技術は、IoTが普及するにあたり従来のような配線では接続することができないため必要不可欠です。

KII growth support

資金調達支援、人員体制の拡充、バックオフィス支援、取締役就任

KII's Perspective

ワイヤレス給電はIoT・IoE社会に求められる重要技術であり、コア事業であるファクトリーオートメーション、ビルマネジメント、メディカルインプラントに限らず、様々な分野で応用されると期待されます。

株式会社ユーフォリア

スポーツの課題をサイエンスで解決

ラグビー日本代表をはじめ、現在国内外のスポーツチームで導入されている選手のコンディション情報管理システムONE TAP SPORTSや、商品開発・マーケティング支援、R&D部門のユーフォリアスポーツ科学研究所など、サイエンスに基づいた選手の支援や、ユーザーにデータを還元し、さらにスポーツ内外の社会課題の解決に応用することを目指します。

KII growth support

資金調達支援、事業戦略支援、取締役就任

KII's Perspective

選手のコンディション情報管理システムは、すでにラグビー日本代表をはじめ多くの国内外のスポーツチームで導入されており、それらのデータやサイエンスに基づいたサービスはスポーツ科学の普及が期待できます。

株式会社日本農業

農業の構造を改革し持続可能な成長産業へ転換を図る

日本の農業産業は年々縮小する中、バリューチェーン上に多くの中間業者が混在することでコスト負担が大きくなることや、農家の収入が安定しないことが課題です。同社は、産業構造を変革し、新生産技術や国内外の販路などを提供しています。それにより、農家の生活水準向上や、就農者、生産量の増加・維持に繋がる「持続可能な農業」の実現が期待できます。

KII growth support

IMM関連支援

KII's Perspective

国内市場規模の縮小、高齢化や後継者不足による農業人口の減少など農業を取り巻く厳しい環境に対し、同社の新生産技術や産業構造の改革は、農業を持続可能な成長産業へ転換することが期待できます。

株式会社Synspective

IPO

地球全体をいつでもどこでも見られる衛星の力で安全な未来を実現する

合成開口レーダー（SAR）を搭載した小型衛星及び衛星データを使ったソリューションを提供。30機のコンステレーションを目指し地球全体をくまなく昼夜を天候を問わず、長期に渡って観測することを実現していきます。

KII growth support

資金調達支援

KII's Perspective

従来比10分の1の超小型SAR衛星と、データを利用するソリューション開発の両方の技術を持ちあわせ、すでに運用していることが強み。世界のあらゆるところを連続的に観測し、衛星データ利用が拡大することを期待しています。

RUN. EDGE株式会社

高速映像再生技術で世界中のプロスポーツ現場の高い要求に応える

シーン映像の検索・分析のコア技術をベースとし、直感的に操作できるプロダクトを提供しています。プロ野球向けアプリケーション「PITCHBASE」は日米において既に10以上のプロ球団で採用され、サッカー向けアプリケーション「FL-UX Football」は、Jリーグクラブ、欧州1部リーグのクラブやブラジルのクラブにおいて採用が決定しています。

KII growth support

資金調達支援、上場に向けた体制構築、取締役就任

KII's Perspective

同社が開発する「シーン再生技術」は、多くの国内外のトッププロチームで採用されており、今後も、映像動画を主としたSportsTech、EdTech分野でのグローバルSaaS企業として期待されます。

Nanofiber Quantum Technologies, Inc.

世界で唯一のナノファイバー共振器QED技術を開発

同社は、早稲田大学理工学術院の青木隆朗教授が研究してきた世界で唯一のナノファイバー共振器QED技術をもとに設立されました。従来の技術では為し得なかった誤り耐性量子コンピュータを、独自のシステムを構築することにより、多数の量子コンピュータユニットをネットワーク化し、大規模な量子コンピュータを作成することで実現が可能です。

KII growth support

資金調達支援

KII's Perspective

共同創業者の3名はいずれも英科学誌ネイチャーに筆頭著者として掲載論文のある量子科学分野の世界的トップ研究者であり、量子技術によるイノベーションの創出と、グローバル規模での全く新しい社会の変革が期待できます。

APB株式会社

次世代リチウムイオン電池を開発、革新的な電池で世界を変える

全樹脂電池（All Polymer Battery）という、樹脂の活用とバイポーラ構造という新しい電池デザインにより従来電池の課題を解決。高い異常時信頼性、高エネルギー密度、形状フレキシビリティ、革新的な生産プロセスといった性能・特徴を全て同時に実現しています。

KII growth support

創業支援、事業計画・資本政策立案、資金調達支援、人材採用、管理体制強化、取締役就任

KII's Perspective

高度な独自技術により、高性能、安全性、低価格を同時に実現し、量産着手目前に至っています。次世代リチウムイオン電池の本命として世界市場への展開を期待しています。

株式会社 FingerVision

画像をベースに「手のひら」の触覚をロボットで再現

カーネギーメロン大学において、ロボットによる物体操作に人工知能技術を応用する研究を推進していく中で生まれた「画像（カメラ）をベースに触覚を再現する」というコンセプトをコア技術とし、高度な視触覚センサーをロボットシステムに適用することで、主に食品業界において、人的依存度が高いピックアンドプレース工程の自動化・省人化を目指します。

KII growth support

資金調達支援、人員体制の拡充、バックオフィス支援、提携先選定や交渉支援、取締役就任

KII's Perspective

「画像（カメラ）をベースに触覚を再現する」という技術コンセプトや、高度な視触覚センサーをロボットシステムに適用することで、ターゲットである食品業界に留まらず、様々な分野で応用が期待されます。

クオン株式会社

“絆”のテクノロジーで、ファンが育つ、ファンコミュニティを共創する

ファンコミュニティクラウド「QON」は、クラウド型のBtoC向けファンコミュニティ構築サービスです。４つの知財を基に開発された「“絆”のテクノロジー」を通して、人々が集まるコミュニティをオンライン上で活性させ、利用企業各社にファン化と共創をもたらします。

KII growth support

資金調達支援

KII's Perspective

データサイエンスに基づくファンコミュニティサイトの運営が強みです。科学的に抽出されたファンの声は、利用企業各社の商品開発や広告展開に活用されています。

株式会社xenodata lab.

KII growth support

資金調達支援、取締役就任

世界の経済動向をAIで可視化 人工知能で経済の未来を先取りする

xenoBrainは企業の意思決定をサポートする経済予測専門のクラウドサービス。規模の大小に寄らず多くの企業に対し、リアルタイムで経済事象の発生・変動をキャッチ、各企業へのインパクトを自動で計算し、未上場企業含む40万社の業績予測情報を提供しています。

KII's Perspective

AIの強みは膨大なデータを扱いながら、識別、生成、予測ができることですが、このうち最も難しいのが予測の技術です。この領域に革新をもたらし、フィンテックに次ぐ大きな潮流を巻き起こしていくことを期待しています。

株式会社BONX

M&A

KII growth support

事業計画・販売戦略立案への助言、資本政策立案、資金調達支援、共同研究支援、取締役就任

音声コミュニケーションの力で、チームの成長に貢献する

法人向けにサービス拡大しているBONXは、単なる業務改善ツールではなく、チームコラボレーションツールとしてチームの成長に貢献することを目指しており、スポーツ/小売/介護/飲食/病院/建築現場/リモートワークなど、あらゆるシチュエーションでのチームの成長に貢献するTeam Growth Platformとして拡大しています。

KII's Perspective

ハードウェア、ソフトウェア両面で開発を重ね、音声技術やグループ通話システムにより独自のグループトークテクノロジーを有しており、世界で最も多目的な音声コミュニケーションプラットフォームとして展開を期待しています。

モーションリブ株式会社

KII growth support

資金調達支援、事業体制構築支援、広報支援、管理体制強化、監査役派遣

チカラ加減の制御技術で、人のように器用に動くロボットの開発を支える

独自の画期的な制御技術「リアルハプティクス」によって、アクチュエータを用いたあらゆる機械に力触覚を宿し、「チカラ加減」を生み出すことができます。危険作業の遠隔化、職人技術の継承、環境に柔軟に対応するロボットでの人手不足解消など、人間とロボットが共生する豊かな社会を目指します。ヘルスケア、モビリティ、建設など幅広い業界と開発を行っています。

KII's Perspective

リアルハプティクス技術によってロボットや機械は力触覚を備えることができ、人工知能や画像認識技術の向上だけでは解決できなかった課題を解決してくれることを期待しています。

グランサーズ株式会社

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役就任

税理士法人で培ったバックオフィスの効率化で企業の成長を支援

税理士法人を含めたグループ全体で累計1,500社超の顧客のバックオフィス全般及び経理・財務・税務等プロフェッショナル業務の支援を行っており、多くの企業がかかえるバックオフィスの業務効率化に対する課題解決の実績とノウハウがあります。単なる業務代行のみならず、パートナーとして、デジタル化や柔軟な働き方をサポートしています。

KII's Perspective

専門性が必要とされるバックオフィス業務を担う人材は日本全体で慢性的に不足しており、税理士法人を背景にもつ同社の実績とノウハウによる課題解決をはじめ、柔軟な働き方の広がりが期待できます。

株式会社MAZIN

KII growth support

資金調達支援、人員体制の拡充、バックオフィス支援

AIを用いて製造現場の卓越した職人の加工技術を自動化

製造現場の高度技能者の不足という深刻な課題を解決する手段としてAIの活用が注目を集めている一方で、デジタル人材や真に現場のニーズを捉えたAI製品が不足しており、多くの工場で活用が進んでいない状況です。これらの課題を解決するため、加工業務を自動化するAI の研究やAI を使用可能にするためのインダストリアルIoT サービスの開発に注力しています。

KII's Perspective

AI技術者として製造現場にAI を導入するプロジェクトを多数経験する中で、高度技能者及びデジタル人材不足という課題を解決するために、AIのみならず現場のニーズを捉えた製品、サービスの開発を強みとしています。

Cuebus株式会社

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役就任

リニアモーター駆動による世界初自律搬送型ロボット倉庫システム

「Cuebus」は、リニアモーターを活用した省電力で移動可能なロボット倉庫システムです。大型倉庫に限られていたロボット倉庫を、都市部の狭い場所や小型倉庫などにフレキシブルに導入することが可能です。導入が容易で、圧倒的な利便性とコストパフォーマンスによって市場を獲得できる可能性を秘めています。

KII's Perspective

独自のリニア駆動により省電力で移動可能なロボット倉庫システムは、すでに東京駅構内のような限られたスペースでの実証研究を完了しています。今までロボット倉庫を導入できなかった企業への導入が期待できます。

スカイゲートテクノロジズ株式会社

SKYGATE

KII growth support

創業支援、資本政策立案、資金調達支援

あらゆる宇宙ビジネスのために宇宙と地上のクラウドをシームレスに繋ぐ

衛星データの民間利用が拡大し、衛星数が急増する一方、受皿となる地上局が圧倒的に不足しています。スカイゲートテクノロジズが展開する地上局によって、宇宙衛星が地上のクラウドと繋がり、リアルタイムで衛星データの利用が実現します。

KII's Perspective

地上局の大幅な小型化、低コスト運用化を実現しており、宇宙ビジネスのボトルネックの解消を期待できます。

株式会社クラウドケア

クラウドケア Crowd Care

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役就任

介護が必要になっても自宅で自分らしく暮らし続けるために

「ケアを通して、多くの人々を幸せにする」というミッションを掲げ、シェアリングエコノミー型(クラウドソーシング)の訪問介護・家事・生活支援マッチングプラットフォーム「CrowdCare(クラウドケア)」を運営しています。超高齢化社会の課題に対し、従来の介護サービスでは対応できなかった生活支援についても、介護とIT両面で提供しています。

KII's Perspective

超高齢化社会においては、介護保険料の増大や介護人材の不足など多くの課題が存在します。介護保険外のマッチングプラットフォームを提供するクラウドケアの介護×ITの知見による課題解決が期待できます。

SENSY株式会社

SENSY

KII growth support

資金調達支援、管理体制の強化、上場準備体制構築支援、取締役就任

「感性」を学習するパーソナルAIで、人生が変わる出会いを創り出す

SENSY MBでは、ひとりひとりの属性購買履歴などをもとに、パーソナライズしたマーケティングを実現。またSENSY MDでは数10万アイテムの売上を顧客単位・アイテム単位で予測し、商品発注・仕入などのMD計画を最適化します。

KII's Perspective

消費者感性の理解と、それに基づく産業変革をテーマに事業を進めています。アパレルからスタートし、食品にも応用、大手食品スーパーやドラッグストア等での実績積上げに強みを有します。

newmo株式会社

newmo

KII growth support

IMM関連支援

地域交通の未来を刷新し新たな移動革命を実現する

ライドシェアによる地域交通のイノベーションを推進し、安全で快適な移動体験と柔軟な働き方をドライバーに提供します。アプリと運行管理システムの革新やタクシー事業者との資本提携により、多様な移動手段を創出し、経済活性化への貢献とともに、真に価値のある地域交通の提供を目指します。

KII's Perspective

単にドライバー不足や移動手段の少なさといった課題を解決するだけでなく、交通手段の多様な選択肢を創出し、経済をさらに活性化させるとともに、地域と生活者の双方に真の価値をもたらす移動手段を提供することが期待されます。

株式会社DigitalArchi

DigitalArchi

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、IMM関連支援

建築における労働生産性の向上と資源循環を促進

独自の大型3Dプリンタを活用することで、再生プラスチックを用いた建材を低コストで製造し、デジタル技術で現場作業を効率化する新工法を開発しています。この独自技術によって、コスト削減、労働力問題の解決、環境保護などの課題解決を目指します。デジタル技術による建築のプロセス革新を推進し、環境保護と社会経済へのインパクト創出が期待されます。

KII's Perspective

慶應義塾大学とKIIが連携した新しいインキュベーションプログラム「KSIP」の支援を受け創業しました。独自の技術は、建築における労働力問題などの社会課題解決と、資源循環の促進が期待できます。

ゼネリックソリューション株式会社

GenericSolution ubiquitous

KII growth support

資金調達支援

ビジネスに本当に役立つデータ活用とは

ビッグデータを活用したい事業者に対して、ソリューションの自動化を提案するアナリティクス事業と、データマイニング（ビッグデータからの知識の発見）のソフトウェアとサービスを提供するソリューション事業に取り組んでいます。

KII's Perspective

アルゴリズムを自動化し、問題解決を自動的にオペレーションする強みを活かして、金融機関に採用が拡大。取引履歴などから顧客データを分析。顧客の需要を予測し、顧客個人に合致したサービスや商品の提供を可能としています。

医療・健康領域

クリングルファーマ株式会社

IPO

HGFを活用した創薬で、世界中の難病患者に新しい治療法を

HGF（肝細胞増殖因子）を医薬品として実用化することを目指す創薬バイオベンチャーとして、“医薬品グレード”で「遺伝子組換えヒトHGF」を大量製造できるプロセスを確立。製造販売承認の取得に向けて脊髄損傷、ALSといった神経難病に対しての治験を進めています。多くの事業会社が資本業務提携し、承認取得後の販売、流通を支援する体制がすでに完成しています。

KII growth support

資金調達支援、提携先選定や交渉支援、事業提携後のフォローアップ

KII's Perspective

脊髄損傷では有効性が確認され、新薬としての上市が期待されます。また、ALSなどより多くの難病での効果も期待され、HGFのさらなる可能性を追求していきます。

株式会社坪田ラボ

IPO

眼科領域のイノベーションで、世界をごきげんに、健康にする

坪田ラボでは、近視、ドライアイ、老眼の分野において革新的なソリューションを提供しています。中でも、バイオレットライトと呼ばれる太陽光の一部（波長360～400nm）を一定時間浴びることで近視予防に効果があるとされますが、これを照射できる眼鏡（近視防止眼鏡）を開発。近視予防のほか、円錐角膜治療や、鬱など精神疾患分野での応用を目指しています。

KII growth support

IPOに向けた主幹事証券との協議への助言

KII's Perspective

サイエンスに立脚した製品開発を進め、真に効果がある製品を提供し、予防や治療に貢献することを期待しています。

株式会社ケイファーマ

IPO

iPS創薬と再生医療の両軸で世界をリード

慶應義塾大学医学部生理学教室岡野栄之教授と同整形外科学教室中村雅也教授の研究グループで長年にわたり取り組んできた脊髄損傷等の再生医療研究と疾患特異的iPS細胞技術を用いた創薬研究（iPS創薬）の成果を元に創業。iPS細胞を活用した脊髄損傷等を対象とする再生医療事業と筋萎縮性側索硬化症（ALS）を含むiPS創薬事業の両事業を展開しています。

KII growth support

事業戦略等に関する助言や支援

KII's Perspective

iPS細胞分野において卓越した研究成果を有しており、根本的な治療法の確立していないアンメット・メディカル・ニーズの解決において世界をリードすることが期待できます。

Heartseed 株式会社

IPO

iPS細胞から心臓の細胞を作製し心臓組織に移植する治療方法を開発

iPS 細胞から高純度の心筋細胞を作製する技術、作製した心筋細胞を移植する技術など心筋再生医療の普及に必要な多数の独自技術を有しています。「Japan Venture Awards 2021」において「科学技術政策担当大臣賞」を受賞。また、海外の大手製薬会社とアライアンス実績があります。

KII growth support

取締役会オブザーバー派遣

KII's Perspective

心不全を治療する新たな方法として心筋再生医療が当たり前になることを期待しています。

株式会社CureApp

ソフトウェアで「治療」を再構築、アプリで治療する未来を創造する

今、医療の現場では、医薬品、ハードウェア医療機器に加え、「ソフトウェア医療機器」が新たな治療の選択肢として成立し始めています。中でも、CureAppが開発する医療禁煙アプリは、治療用アプリとして国内初、保険収載され医師による処方が始まっています。進化するテクノロジーを活用した新しい治療法で社会課題を解決していきます。

KII growth support

資金調達支援、顧客候補紹介、取締役会オブザーバー派遣

KII's Perspective

医師の思考をアルゴリズム化し、先行する禁煙治療アプリに加え高血圧、NASH等並行開発を可能とする共通基盤を構築している強みを有しています。

アリヴェクシス株式会社

独自の強みを掛け合わせた創薬アプローチで低分子創薬に革命を

コアバイオロジーへの知見、最新鋭の創薬プラットフォームとユニークな創薬研究パイプラインの組み合わせで、低分子創薬に革命を起こす「アリヴェクシス」。独自の手法で、約3年でIND（治験の申請）が行えるまで創薬を加速させることができます。

KII growth support

アカデミアとの協業支援、取締役会オブザーバー派遣

KII's Perspective

製薬企業の第一線で創薬研究と事業開発に携わったメンバーにより、欧米バイオベンチャーと肩を並べるパイプライン開発能力と事業開発能力を有しています。欧米大手への大型導出を継続的に生み出すことを期待しています。

株式会社ビードットメディカル

KII growth support

資金調達支援

大切な“日常”をそのままに、がん治療に新しい選択肢を

陽子線治療は良い治療にも関わらず、装置の大きさと高価格が普及の課題に。同社は独自の非回転型ガントリーや照射技術により小型化を実現。専用建屋工事を必要とせず、既設のX線治療室に収まる設計とし低価格化を実現しました。

KII's Perspective

「すべてのX線治療患者さんに陽子線治療を届ける」ということをミッションに掲げ、超小型陽子線がん治療装置の開発に取り組んでいます。X線治療装置は広くグローバルに普及しており、置換えが期待できます。

株式会社EXORPHIA

KII growth support

資金調達支援、事業戦略支援、人材採用支援、広報支援、提携先選定や交渉支援、取締役就任

次世代のニューモダリティ、エクソソーム医薬の可能性を追求

複数の作用点で働くエクソソームは、従来の医薬品では十分な効果を示さない多くの疾患に対する新たな治療手段として注目が高まっています。高活性で高濃度なエクソソームを大量に精製・濃縮する独自のプラットフォーム技術を活用することで、未だ有効な治療法のない難治性疾患を対象にエクソソームの特性を活かした安全で効果の高い医薬品を開発していきます。

KII's Perspective

独自のプラットフォーム技術を開発すると同時に、多くの研究機関を巻き込みながらパイプライン開発を進めてきており、次世代医薬品として注目が高まるエクソソーム創薬のパイオニアとして確固たる地位を築くことを期待しています。

株式会社Vetanic

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築支援、人材採用支援、事業提携先支援、取締役就任

iPS細胞を用いた先進的獣医療を多くのコンパニオンアニマルへ

世界で唯一の臨床応用に適したイヌiPS細胞の作製に成功し、イヌiPS細胞由来間葉系幹細胞（MSC）をはじめ各種再生医療等製品を開発しています。再生医療は、獣医療においても普及が望まれますが、様々な課題が存在します。iPS細胞由来の高品質・低コスト・ドナーフリーで倫理的な再生医療等製品を提供し、獣医再生医療の普及を促進します。

KII's Perspective

世界で唯一の臨床応用に適したイヌiPS細胞の作製に成功したVetanicは、MSCをはじめ様々なiPS細胞由来再生医療等製品を開発することで、獣医再生医療の普及を推進できると期待しています。

株式会社iXgene

KII growth support

資金調達支援、事業戦略支援、事業体制構築支援、人材採用支援、取締役就任

ゲノム編集iPS細胞を用いて難治性疾患の克服を目指す

脳腫瘍の中でも悪性神経膠腫は極めて悪性度が高く、再発例に対する有効な治療法は存在しません。同社は、ゲノム編集で自殺遺伝子を導入したiPS細胞由来神経幹細胞が脳腫瘍や脳障害部位に選択的に移動する性質を利用し、細胞を自殺遺伝子の「運び屋」として用いることで、より安全でかつ抗腫瘍効果の高い新たな治療法の開発を進めています。

KII's Perspective

極めて予後不良でアンメットメディカルニーズの高い悪性神経膠腫に対して独自開発のゲノム編集iPS細胞由来神経幹細胞を用いることで、より安全かつ抗腫瘍効果の高い新たな治療法の実現が期待できます。

Neusignal Therapeutics 株式会社

KII growth support

取締役就任

在宅でアルツハイマー病の根本治療が可能な低分子経口薬を開発

同社の開発する医薬品は、多様に進行するアルツハイマー病の病態を、経口低分子薬のため安価な治療コストかつ、在宅での治療を可能とします。患者さんの治療満足度の向上、介護者の負担軽減、そして国全体の医療費の適正化をもたらすことで、健康寿命の延伸・経済的損失の低減といったインパクトの創出を目指します。

KII's Perspective

急速な高齢化による社会的な負担が拡大する中、特にアルツハイマー病に対して、在宅で根本的な治療を可能とする低分子経口薬の開発を目指しており、健康寿命の延伸・経済的損失の低減といった社会的インパクトの創出が期待できます。

株式会社セルージョン

KII growth support

資金調達支援、提携先選定や交渉支援、人材採用支援、広報支援、取締役就任

iPS細胞から角膜内皮の代替細胞を製造。移植待機患者に光を

iPS細胞から角膜内皮の代替細胞を独自の方法で製造し、目に移植する新しい治療法の実現を目指しています。手術は細胞を注射器で注入するだけで、細胞は術後3時間で角膜へと定着。すでにサルなどの動物実験において移植した細胞の生着が確認され、現在臨床研究に向けた準備を進めています。この治療の実現により、世界1300万人の移植待機患者さん問題の解決を目指します。

KII's Perspective

角膜移植のドナー不足の問題を解決する画期的な医療を提供できる可能性があります。容易な術式であることから先進国だけでなく新興国においてもセルージョンの製品が提供されていくことが期待できます。

株式会社Luxonus

LUXONUS

KII growth support

資金調達支援、提携先選定や交渉支援、人材採用支援、販売戦略構築支援、広報支援、取締役就任

光超音波イメージング技術で、医療の世界に革新を

同社の光超音波3Dイメージングは、患者さんの体に負担をかけることなく、体内組織の様子を極めて高解像度に、3次元画像として描写できます。血管障害や乳がん、リンパ浮腫など、これまでの技術では早期の診断や治療効果の判定が難しかった病気の診断・治療に貢献することが臨床研究で示されています。

KII's Perspective

これまで培ってきた基盤技術、基礎研究を基にした製品開発で、超音波検査、CT、MRI、SPECT／PETに続く“第5のモダリティ”としてのポジションを確立することを期待しています。

株式会社グレースイメージング

KII growth support

資金調達支援、人材採用支援、販売戦略構築、取締役就任

最先端解析技術で世界初のヘルスケアサービスの実現を目指す

独自開発のデバイスで「汗中の乳酸濃度」を測定し、疲れを可視化します。アプリ連動で、簡単に運動負荷・変化を見える化。心臓リハビリテーションの運動負荷測定デバイスとして、医療機器承認取得に向けた治験を実施予定。

KII's Perspective

心リハというこれまでエビデンスベースでのリハビリが十分に提供されてこなかった分野で、リハビリの効果を上げる新規医療機器として広まることに期待。また、スポーツなど他分野での利用拡大も視野に入れています。

株式会社LIFESCAPES

LIFESCAPES

KII growth support

販売戦略構築、広報支援、管理体制の強化、人材紹介、取締役就任

重度麻痺患者に新しい希望を。リハビリ医療のニュースタンダードを創る

脳科学とAIが融合したBMIを使って脳と機械をつなぐことで、傷ついた脳の活動を検出し、脳と手指をつなぐ神経回路の再構築を促します。脳卒中後の重度麻痺のリハビリの可能性を拡げ、脳卒中患者を取り巻く課題の解決と、QOL向上への貢献が期待できます。

KII's Perspective

同社には脳科学、AI、リハビリテーション医学それぞれのトップランナーが揃っており、経営陣の深いマーケット理解と経験により、BMIという最先端技術をリハビリ医療現場に実装できると期待しています。

株式会社ヘッジホッグ・メドテック

Hedgehog MedTech

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役就任

認知行動療法に着目した片頭痛治療用アプリの開発

日常生活に大きな支障をきたす片頭痛は、就労世代の患者数が多く、経済的損失の観点からも大きな社会課題となっています。同社は、多くの先行研究や実臨床で有効性が証明されているものの、手間や専門性の観点で提供できる医師が限られていた認知行動療法に着目し、それをアプリを通じて提供することで、簡易かつより効果の高い治療の提供を目指します。

KII's Perspective

患者さんのQOL低下や労働生産性への影響が大きいとされる片頭痛に対し、治療用アプリという新たな治療法の提供を通じて、「テクノロジーの力で治療効果を向上させる」というミッションが実現されることを期待しています。

株式会社AdipoSeeds

AdipoSeeds

KII growth support

創業支援、管理業務支援、資金調達支援、提携先選定や交渉支援、人材採用支援、取締役就任

脂肪から血小板をつくり、あたらしい血液の流れを創る

皮下脂肪組織由来の間葉系幹細胞から血小板を人工的に創製する独自技術で、創製された血小板を輸血代替、創傷治癒での利用を目指しています。動物実験で効果は確認済みで、ヒトへの安全性・効果の確認を進めています。

KII's Perspective

ドナーに依存している血小板不足を解決する画期的な製造法であり、医療応用できる範囲も血小板代替、組織修復だけでなく多岐に渡ることから、多くの治療分野において将来同社の製品が利用されることを期待しています。

株式会社フェリクス

FELIQS

KII growth support

資金調達支援、事業戦略支援、事業体制構築支援、採用支援、提携先選定や交渉支援、取締役就任

フェロトーシスを検知する独自の創薬プラットフォームを構築

近年、フェロトーシスはがんをはじめとする、多くの疾患との関連が報告されており、新たな創薬ターゲットとして研究が盛んに行われています。九州大学発スタートアップのフェリクスでは、フェロトーシスにつながる脂質ラジカルを検知するプローブを使った独自の創薬スクリーニングプラットフォームを構築し、独自のパイプラインとして研究開発を進めています。

KII's Perspective

新たな細胞死であるフェロトーシスに着目をした創薬スクリーニングプラットフォームを有しており、既存治療ではアンメットメディカルニーズの大きい領域で新たな治療薬を複数提供していくことを期待しています。

株式会社クロバーナ

KII growth support

資金調達支援、事業戦略・事業体制構築に対する助言、取締役就任予定

世界唯一のRNA創薬標的認識システムを開発

世界唯一のRNA創薬標的認識システムを基盤技術とする、高精度・高速のRNA創薬を実現するハイブリッド型バイオスタートアップです。異常タンパク質の蓄積が原因で発症する疾患では、ノンコーディングRNAが原因解明に重要な役割を果たすにもかかわらず創薬標的とすることが困難でした。同社の技術を活用することで、これらの難治性疾患の解決が期待できます。

KII's Perspective

同社の技術は、ノンコーディングRNAを含めた様々なRNA上の治療標的配列やRNA結合タンパク質の機能解析が可能となり、ノンコーディングRNA創薬という未知なる分野の創出が可能となります。

メタジェンセラピューティクス株式会社

KII growth support

事業体制構築、販売戦略構築、広報支援、管理体制の強化、取締役会オブザーバー派遣

腸内細菌移植療法普及のサプライチェーン構築と製剤の開発

普及へ課題が残るFMTを、安全で安定的なグローバルスタンダードのFMT製剤サプライチェーンを構築することで、普及を促進します。腸内細菌叢データを活用し、マイクロバイオーム創薬へと事業分野を拡大します。

KII's Perspective

腸内細菌叢研究において国内有数の実績を有するチームで構成されており、FMT製剤のみならず新たなマイクロバイオーム創薬パイプラインを創出し、様々な疾患の患者さんへ治療オプションを届けていくことを期待しています。

ひむかAMファーマ株式会社

KII growth support

資金調達支援、事業提携先の候補選定支援、取締役会オブザーバー派遣

改良型アドレノメデュリンの新規創薬シーズの研究開発

潰瘍性大腸炎やクローン病など難病への効果が示唆されているAMを改良し、より持続性の高い医薬品として開発。動物実験で効果は確認され、ヒトへの投与の準備が進んでいます。肺炎の重症化抑制も期待され、臨床研究が進行しています。

KII's Perspective

国内で見出された生理活性物質であるAMを様々な疾患領域に応用していく企業として、製品化を進めて行くことを期待しています。

インスタリム株式会社

KII growth support

管理体制の強化、広報支援、助成金の獲得を含む資金面の支援、取締役会オブザーバー派遣

必要とするすべての人が、義肢装具を手に入れられる世界をつくる

インスタリムは、自社開発の3D-CAD、3Dプリンタを用いることで従来品の10分の1の価格で高品質な義足を提供しています。これまでの高価な義足に手が届かなかった層にも義足を提供でき、患者さんの自立、貧困からの脱却、尊厳のある暮らしの実現をサポートします。今後本格的にAIを導入することでフィッティング作業の省人化、精度向上が期待できます。

KII's Perspective

フィリピンなどの新興国では、食習慣などにより糖尿病患者さんが増え続けています。当社は義足を安価に提供することで、新興国を中心にこれまでの高価な義足に手が届かなかった層に足を届けることが可能です。

株式会社AYUMI BIONICS

KII growth support

経営全般に対する助言、事業戦略の立案、実行の支援

足腰力を測定し、維持・強化に繋げることで健康寿命延伸に貢献

要支援・要介護の主な原因は「運動器の障害」であり、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）人口は予備軍も含めて4,700万人とされ、高齢化社会において喫緊の課題です。同社は慶應義塾大学大学院理工学研究科での研究成果を活用し、独自の「足腰力測定システム」を通して測定結果に基づいた運動プログラム等を提供することで、健康寿命延伸に貢献します。

KII's Perspective

慶應義塾大学医学部主催健康医療ベンチャー大賞学生部門で優勝し自治体と実証実験を開始するなど今後の活躍が期待できます。

ノックオンザドア株式会社

M&A

KII growth support

事業計画・販売戦略立案への助言と実行支援、広報支援

難病患者ご家族と共に創るプラットフォームで、社会を変える

てんかん患者さんと家族が服薬状況や発作頻度などの記録を共有・管理ができるスマートフォンアプリ「nanacara」と、記録した発作情報をインターネット経由で医師と共有する医師向けのクラウド型サービス「nanacara for Doctor」を展開。他疾患にもサービスを拡大し、プラットフォーム構築や、患者さんと家族のQOL向上に寄与します。

KII's Perspective

難病患者さんとそのご家族に徹底的に寄り添い、真の課題を抽出し、そのソリューションを患者・ご家族と共創するという素晴らしいノウハウを基に、「難病患者ご家族を世の中の光に社会を変える」という理念を実現されると期待しています。